

廃棄物を都市ガスと電気に変換する『再生可能メタン発酵システム』と 地元企業とのコラボレーション

石川県立大学では、牛の微生物を活用し、雑草、農業廃棄物、生ごみなどを、メタン（≒都市ガス）と電気に変換する「新規メタン発酵システム」を開発しました。例えばスーパーマーケットに設置すれば、店舗の光熱費を削減できるとともに、災害時には、炊き出しや電気を供給できる防災拠点として活躍することが期待されます。

本セミナーでは、この取り組みに加え、メタン発酵液を有効活用した「防災ビール」とそれを手がけた金澤ブルワリーの環境に配慮した商品開発についても紹介します。



防災ビール
(ホップ生産: 石川県立大学
醸造および販売: 株式会社金澤ブルワリー)

災害対応機能を備えた資源循環型発電システム

日時 2022年 **11月28日**(月) 14:00~16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 ものづくりに携わる企業・個人事業主、
研究開発機関、行政機関等の方

※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。

参加費
無料

雑草や食品ごみから都市ガスと電気を生み出す
『再生可能メタン発酵システム』

第1部

講師

馬場 保徳 氏

(石川県立大学 生物資源工学研究所 講師)

2011年震災の被災生活を経て、いつでもどこにでも存在する雑草を、メタン発酵により、ガスと電気に変換する研究をはじめました。

今回は、この研究の詳細をお話するとともに、金澤ブルワリーと共同で進めている、余剰の発酵液を循環型農業に用いることで6次産業化した事例 (=ビールづくり) を紹介します。

クラフトビールから生まれる
新しい出会い、始まる循環

第2部

講師

鈴森 由佳 氏

(株式会社 金澤ブルワリー 代表取締役)

クラフトビール製造販売を通し、多くの出会いがあり、廃棄物活用や、食品ロス等の様々な地域課題があることも分かりました。環境に配慮した商品開発を進めるきっかけとなり、事業を通して幅広い分野での可能性があると感じています。今回は、これまでの取組内容や今後挑戦したいことを紹介します。

講師プロフィール

馬場 保徳 (ばば やすのり) 氏

石川県立大学 生物資源工学研究所 講師

2014年東北大学大学院博士課程修了。博士（農学）。日本学術振興会特別研究員を経て、2016年石川県立大学生物資源工学研究所助教。2020年から現職。

2014年東北大学総長賞、2019年農林水産省若手研究者賞を受賞。

2011年の東日本大震災を契機に、雑草を都市ガスと電気に変換する研究に従事。2022年にはこの研究成果を社会実装するための、環境微生物研究所株式会社を設立。

鈴木 由佳 (すずもり ゆか) 氏

株式会社 金澤ブルワリー 代表取締役

石川県出身、2011年より海外一人旅、帰国後ホストファミリーとして留学生の受入を開始。2012年、カナダ・トロントへ留学し、2014年帰国。翌年(株)金澤ブルワリーを創業。東京へ1年間通い、製造技術を習得。クラフトビールメーカーとし、常時10種類前後の樽・瓶商品を製造販売。そのほか、製造工程で出てくる廃棄物の活用など酒類製造に限らず新たな取組も行っている。現在は能登島に第二工場建設中で、将来的には主原料栽培や製造体験施設建設も視野に活動中。

「先端ものづくり技術交流セミナー(第2回)」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請
②E-mail または FAX(076-240-1903)による申請
のいずれかによりお申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市異業種研修会館 担当 山下
TEL:076-240-1934
FAX:076-240-1903
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和4年11月24日(木)

申込方法等の詳細は、Webサイト
「金沢市産学連携
ネットワーク」
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク